



まだ誰も知らない安心を、ともに。

自然資本や生物多様性の保全・回復に貢献する「再造林等費用補償特約」を発売 ～火災等によって罹災した森林を再造林するために要する費用を補償～

2022年6月27日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、自然資本^{※1}・生物多様性の保全・回復に貢献する取り組みの第3弾として、火災等によって罹災した森林の再造林等に関する費用を補償する「再造林等費用補償特約」を6月から発売します。

※1 自然環境を国民の生活や企業の経営基盤を支える重要な資本の一つとして捉える考え方

1. 背景

日本は国土の約7割が森林であり、森林は生物多様性の保全や土砂災害の防止、水資源の保全、レクリエーションの場の提供など極めて多面的な機能を有する自然資本です。また、地球温暖化防止のためのCO2の吸収源としても期待されています。

その機能を継続的に発揮するためには適切な森林整備が必要ですが、自然災害等で森林が罹災し、消失するケースが多くあります。中でも森林火災については、障壁等が無い場合広範囲にわたり焼失する例もあり、罹災した際の再造林費用の負担が大きく、再造林が進まないことが課題となっています。

当社では従来から企業財産包括保険（森林火災方式）で、森林の焼失に伴う経済価値の損失を補償していましたが、再造林等に要する費用は補償対象外としていました。そのため、今般、企業財産包括保険に付帯する特約として新たに「再造林等費用補償特約」を開発しました。

2. 商品の概要

火災等によって罹災した森林を再造林するために要した費用^{※2}を補償します。

【再造林等費用補償特約の概要】

対象契約	企業財産包括保険
募集開始日	2022年6月27日
補償範囲	①地 ^{こしら} え、苗木、植付けまたは下刈りに関する費用 ②野生鳥獣の被害から植栽木を守るための防護柵等の設置・改良に関する費用 ③再造林に伴い生じる路網整備費用 ④保険の対象の残存物取片づけに必要な費用 (取壊し費用、取片づけ清掃費用および搬出費用)

※2 原則として、補助金等で補償される金額を除いた実費（自己負担額）

3. 今後の展開

今後も森林・水・土壌といった領域において、事故により毀損した自然資本や生物多様性の保全・回復に必要な費用を補償する商品・サービスを提供し、CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）^{※3}を通じて社会・地域課題の解決に貢献していきます。

※3 CSV … Creating Shared Value（社会との共通価値の創造）

DX … Digital Transformation（データやデジタルを活用し、価値提供を変革させること）

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取組みます。

